

皆さんの声を町政に

まちづくり懇談会

テーマ：
第7次総合計画の
策定に向けて

佐々木学町長との「まちづくり懇談会」が、10月26日から11月26日まで、町内23会場で行われました。集まった町民は延べ243人。今回のまちづくり懇談会は、今後8年間のまちづくりの方針を決める第7次総合計画について、町民の皆さんからさまざまなご意見をいただきました。

○総合計画とは？

総合計画は「栗山町自治基本条例」および「栗山町総合計画の策定と運用に関する条例」に基づき「まちの将来像（ビジョン）」を定め、その具体化に向けた政策などを効率的かつ効果的に実行するための重要な計画です。

町が定めるすべての計画の最上位に位置し、町が進めるすべての政策などは、総合計画が根拠となり、毎年度の事業立案、予算編成を行うこととなります。

○第7次総合計画への主な意見

- ・栗山のまちづくりに関わる人を増やすことで、移住定住につながると思う。
- ・人口減少を抑えるには若者の移住定住が不可欠なので、雇用の場を確保する

ることが重要である。

- ・人口減少によって、町内に空き家が増えている。空き家の有効活用について、相談体制も含めて情報発信してほしい。
- ・駅前商店街の活性化をはじめ、町がリーダーシップをとり、町民と協働してまちづくりに取り組んでほしい。

- ・スキー場の跡地活用について、国道からもよく見えるので、栗や桜の木を植えれば景観が良くなり、町を訪れる人が増えると思う。
- ・町が主導して、結婚適齢期の人に出会いの場を設けることを検討してほしい。

- ・農家は人手不足になっているので、都会の若者を引き寄せるような政策があればありがたい。

- ・栗山駅南交流拠点施設に、栗山の農産物を知ってもらうためにも、直売所の設置を検討してほしい。
- ・農産物の加工に力を入れれば、農家や商店街の活性化につながると思う。
- ・札幌や千歳までの交通アクセスを良くして、利便性を高めてほしい。

- ・診療科によっては、診療時間が短く、町内で受診できないので、検討してほしい。
- ・ケアラー支援のための拠点が1カ所しかないので、増やしていただければありがたい。



第7次総合計画 アンケート結果を公開

第7次総合計画策定に向けて、令和3年10月、町政に対する満足度・重要度、将来のまちづくりへの考え方などについて、アンケート調査を行いました。16歳以上の町民の方から、無作為抽出した1000人を対象に調査票を郵送したところ、371人の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございます。詳細は町ホームページで公表していますので、ぜひご覧ください。



第7次総合計画
アンケート結果



○質疑応答

質疑 医師が移住しやすい環境を整備する必要があると思う。

回答 現在でも札幌から通ってくる医師がいる。医師の確保に向けて、日赤本社と協議を重ねていく。

質疑 ごみの分別方法が変わるので、町民に分かりやすく説明してほしい。

回答 焼却施設は令和6年に稼働予定なので、令和5年にごみの分別について冊子を作り説明していく。

質疑 栗肥土の原料は桜山で処理している下水汚泥と生ごみ。広域処理が始まった後はどうなるのか。

回答 堆肥化施設は廃止し、汚泥の処理は町外の業者に委託する予定。栗肥土の生産は終了する。

質疑 災害による停電発生時に、FMの放送が受信

できない場合の対策はあるか。

回答 スイッチが入っていないくても、災害時の緊急通報放送をかける場合は自動で起動するラジオを配布する予定。平時は小学校や商店街の行事予定など、身近な情報も発信していく。

質疑 栗山駅南交流拠点施設とは、どのような施設になるのか。

回答 駅前の商店街に昔のような賑わいを取り戻し、中心市街地の活性化に結び付けるのが大きな目的。FM放送局やDIY工房などを通じて、町民だけでなく、町外の方にも注目してもらえる施設にしていきたい。

質疑 栗山駅南交流拠点施設になるレンガ倉庫は、改築せずに壊すことも可能だったのではないか。

回答 壊してから新築する案もあったが、レンガ造りの倉庫は珍しいので、外観を活かすことになった。

質疑 若者の移住定住や、雇用面での支援は行っているのか。

回答 若者の移住者の住居に関する助成を行っている。コロナ禍の影響もあり、移住相談の件数は増加している。また、移住者の就職の相談にも、関係機関と連携して対応している。

質疑 土地改良総合センターはどのような業務を行うのか。

回答 道の土地改良事業に関する調整など、道職員の業務を一部担う。

質疑 光回線の整備はどのくらい進んでいるか。

回答 工事は令和3年度内に終了予定。その後、総

務省の認可を待ってから受付開始するので、実際に使えるのは令和4年の夏ごろになる。

質疑 熊の出現について対策は考えているか。

回答 広報車やホームページで出現場所などの情報を公開するとともに、出現した地域と連携しながら、看板の設置を行い、注意喚起に努める。駆除による個体調整をしてほしいという要望は、道に提出している。

※町ホームページから懇談会の議事録や、町からの情報提供資料を閲覧できます。
○トップページ↓「組織でさがす」↓「広報・防災・情報グループ」↓「まちづくり懇談会」



まちづくり
懇談会議事録